

ペナン市長が那覇市・沖縄市を表敬訪問

シンガポール事務所

マレーシア北部のマラッカ海峡に浮かぶペナン島は、「東洋の真珠 (The Pearl of the Orient)」と称され、海やビーチといった自然や 2008 年にユネスコ世界遺産に登録されたジョージタウンに残るイギリス統治時代からの歴史的な街並みを目当てに多くの観光客が訪れる観光都市である。また、温暖な気候や物価の安さから、日本人や欧米人にとって退職後の「セカンドライフ」を送る場所としても人気が高い。



今般、ペナン市より当事務所に対し、ペナン市と同じように世界遺産や自然環境を観光振興につなげている沖縄県（那覇市・沖縄市）を訪問し、交流の契機としたという相談があったため、事務所として双方の連絡調整等の支援を行なった。

ペナン市長 Ms. Patahiyah Ismail 以下 4 名の訪問団は、2011 年 4 月 19 日（火）から 24 日（日）にかけて沖縄県を訪れ、4 月 20 日（水）に那覇市神谷副市長、4 月 22 日（金）に沖縄市東門（とうもん）市長を表敬訪問し意見交換を行なった。両市の訪問の中では、ペナン市の PR、相互の文化交流（祭りへの相互参加等）、今後の継続的な友好関係の構築等が話題に上った。

また、一行は世界遺産である「首里城跡」、「沖縄美ら海水族館」、沖縄市の文化施設である「コザミュージックタウン」「沖縄こどもの国」等を訪問し、両市や沖縄の他の地域が、世界遺産や豊かな自然環境をどのように生かし、観光振興を図っているかについて視察を行なった。

今回の訪問を機に、今後ペナン市と那覇・沖縄両市が交流を深め、継続的かつお互いの地域の発展につながるような友好関係が築かれることを期待したい。

また、当事務所としては、今後も日本の自治体からの活動支援に加え、今回のような担当国内の自治体からの支援要請についても積極的に対応し、地域間交流の促進につなげていきたいと考えている。



那覇市表敬訪問（右から 3 人目がペナン市長 Ms. Patahiyah Ismail、右から 4 人目が那覇市神谷副市長）



沖縄市表敬訪問（中央がペナン市長 Ms. Patahiyah Ismail、右端が沖縄市東門市長）

(2011 年 4 月 ペナン市、那覇市、沖縄市聴き取り)
(片野田所長補佐 鹿兒島県派遣)